

令和5年 7月 6日

長野県知事 様

## 令和5年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和4年度から令和6年度	
会社名	中信土木株式会社	
住所	〒390-1401 長野県松本市波田2016-1	
代表者名	代表取締役 進藤 一平	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署		
担当者名	赤穂大樹	
連絡先	TEL	0263-92-7785
	FAX	0263-92-7823
	電子メールアドレス	akaho@chushin-doboku.com
ホームページアドレス	http://www.chushin-doboku.com	

## 1 産業廃棄物3R実践方針

2年目の計画ということで、SDGsの考えを共有できたので、引き続きISOについて3か年計画が終了するまでには取得し、3R実践計画、エコアクション21、SDGs、ISOの4つが連携できるよう全社員一丸となって行動していく。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	5年度目標値	4年度実績値	3年度実績値	2年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m <sup>3</sup> )	100	106.58	1209.35	703.5
リサイクル量の推移 (t・kg・m <sup>3</sup> )	100	106.58	1209.35	703.5
売上高の推移 (円)	200,000,000	180,295,038	308,468,918	160,952,000

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

<p>1, まずは昨年度まで行っている現場ごとマニフェストを集計し、廃棄物の種類及び排出量を各現場担当者や各従業員がしっかりと把握すること。</p> <p>2, 定例会時に廃棄物の適正処理について勉強会を行う。</p> <p>3, ISO9001, ISO14001の取得を令和6年までに目指す。昨年度具体的に進められなかったため、本年度もまずは組織構築、エコアクション21や本計画との連携を考えながら。PDCAの仕組みづくりを行う。</p> <p>4, 引き続き電子マニフェストも検討。</p>
--

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
  - ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
  - ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明(処理施設を有する場合)
  - ・処理を委託する処理業者(施設)の現地確認計画
  - ・従業員教育(研修)計画
  - ・リサイクル促進に向けた取組(計画段階、実施段階での工夫など)
  - ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
  - ・不適正処理を発見した場合の協力体制
  - ・自社処理廃棄物の管理方法(自社処理を行っている場合)
  - ・独自に取り組む事項
- 代替素材への転換(化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと)、環境認証制度等の取得(環境ISO14001、エコアクション21等)、電子マニフェスト(公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター)の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品(材料)使用量／全体材料使用量(%)

製品(材料)種別	当年度目標値	過年度実績値		
	5年度 目標値	4年度 実績値	3年度 実績値	2年度 実績値
アスファルト合材	100	100	100	100
二次製品	100	100	100	100
全体	100	100	100	100